

「超過勤務をめぐる現在の状況」に係る 各府省アンケートの結果について

(1. 国会对応業務、2. 業務量に応じた要員の確保)

※ 対象機関：全府省（45府省等）
実施時期：令和6年5月～6月

令和6年8月

人 事 院

1-1. 「国会对応業務」に係る超過勤務の状況

- 国会对応業務に係る超過勤務の変動の状況は、前回(令和4年度)アンケートと同様、変わっていない旨の回答が最も多かったものの、削減傾向にある旨の回答が前回より大きく増加した。増加傾向にある旨の回答も前回と同程度あった。

昨年同時期（昨年通常国会）と比べた
現在の国会对応業務に係る超過勤務の状況

項目	府省数 (全府省は45府省等)
大幅に削減されている (大幅に削減されているように感じる)	0
削減傾向にある (削減傾向にあるように感じる)	12
削減傾向にも増加傾向にもない	23
増加傾向にある (増加傾向にあるように感じる)	5
大幅に増加している (大幅に増加しているように感じる)	5

【参考】前回アンケート	
項目	府省数 (全府省は43府省等)
前年度と比較して大幅に改善	1
前年度と比較して改善	2
前年度から 状況は変わっていない	31
前年度と比較して悪化	6
前年度と比較して大幅に悪化	3

1－2. 「国会対応業務」に係る超過勤務の状況

- 削減傾向となった主な要因としては、多くの質問通告が早まったこと、デジタルツールの活用等による答弁作成プロセスの効率化が図られたことが挙げられていた。一方で、増加傾向となった主な要因としては、災害等に伴う質問通告数等が増加したこと、一部の質問通告が遅いことが挙げられていた。
- 国会対応業務に関する主な改善要望としては、質問通告の早期化、質問通告の内容の明確化、デジタルツールの活用やオンラインによるレクの推進が挙げられていた。

要因として挙げられた主なもの

大幅に削減されている
(大幅に削減されているように感じる)

－

削減傾向にある
(削減傾向にあるように感じる)

- ・ 多くの質問通告の早期化
- ・ デジタルツールの活用等による答弁作成プロセス等の業務改善
- ・ 国会提出法案数、質問通告数等の減少
- ・ 待機体制の見直し

削減傾向にも増加傾向にもない

- ・ 質問通告の早期化や業務改善等による削減要因がある一方で、質問通告数等の増加や一部の質問通告が遅いこと等による増加要因がある

増加傾向にある
(増加傾向にあるように感じる)

- ・ 質問通告数・レク要求等の増加

大幅に増加している
(大幅に増加しているように感じる)

- ・ 災害等に伴う質問通告数等の増加
- ・ 一部の質問通告が遅い

主な改善要望

質問通告の早期化（23府省等）、質問通告の内容の明確化（11府省等）、
デジタルツールの活用、オンラインレク等の推進（8府省等）、趣旨を明確にした資料要求（5府省等）

2. 「業務量に応じた要員の確保」の状況

- 現在の人員確保の状況について、全45府省等中8府省等が「恒常的な人員不足は生じていない」と回答し、37府省等が「恒常的な人員不足が生じている」と回答した。
- 主な改善要望としては、定員管理を担当する部局に対しては、定員合理化目標数の緩和、定員要求上限数の拡大が挙げられ、人事関係業務の制度官庁に対しては、各種調査等の簡略化・効率化等、手続の簡素化が挙げられていた。

現在の人員確保の状況

項目	府省数 (全府省は45府省等)	主な要因
現在、恒常的な人員不足は生じていない	8	・ 業務量に応じた人員配置や業務の平準化を図った ・ 定員要求を行い措置された
現在、恒常的な人員不足が生じている	37	【人員不足が生じている理由】 欠員補充が困難である、退職や休業・休職者が増加している、災害対応等への対応、定員が不足している 等

主な改善要望

- ◆ 定員管理を担当する部局に対するもの
定員合理化目標数の緩和（6府省等）、定員要求上限数の拡大（4府省等）
- ◆ 人事関係業務の制度官庁に対するもの
各種調査等の簡略化・効率化等（6府省等）、手続の簡素化（4府省等）